

# マヌカハニーNZで生産

## シクロケム販売まで一貫体制

### 健康成分含むハチミツ

シクロケム(神戸市中央区)は、ニュージーランド(NZ)で健康成分メチルグリオキサール(MGO)を豊富に含むハチミツである機能性マヌカハニーの生産に乗り出す。子会社コサナの現地法人が運営主体となり、高品質でエビテンスある素材をバルクやOEM生産、小売り製品を日本市場向けに供給する。日本市場を牽引してきた同社が自社グループによる一貫した生産管理体制を整えることで、品質重視による素材事業を推進する。

### 品質管理徹底、日本に供給

マヌカハニーは、マヌカの花から採取されたハチミツで、ニュージーランド産の国際知名度が高い。他のハチミツに比べて抗菌力に優れるMGO

(約70倍濃度も測定)、抗酸化成分シリンク酸メチルなどの健康機能成分を豊富に含む特徴を持つ。ニュージーランドでの生産は、現地での品質管理と生産体制強化を目的に設立した「コサナニュージーランド」が主体となる。約3億円を投じて進めてきた新工場建設がこのほど完成し、今秋から供給可能になった。現地認証を取得し、生産から販売までの一貫体制による事業を推進することになったのは、日本国内

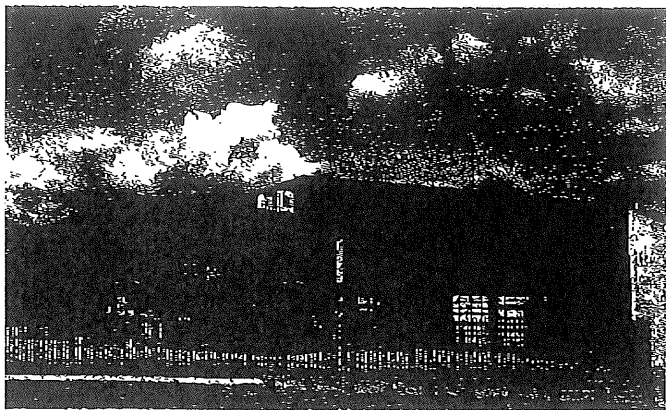
でマヌカハニーの需要が高まり、製品価格の上昇、それにもなう低品質品が出回るようになったことへの対策だ。コサナ取り扱いマヌカハニーの供給元だった現地メーカーもCEOが代わり、シクロケムの求めていた品質に届けなくなったことで、2019年に総代理店契約を解除。供給元を変更しオリジナルブランドを立ち上げ、グループ自ら現地で生産、品質管理することが妥当と判断した。元契約メーカーからマ

ヌカハニーの品質管理への意識が高かった経験者を引き入れるなど現地協力者を得て、生産を開始する。ニュージーランドで直接生産する日本法人は当社グループだけ。徹底した品質管理のもと、日本企業から信頼される素材の提供ができるようになる(寺屋盛二社長)。

日本市場では、MGO数値を偽った製品や国際食品ルール・基準作りを行う機関CODEXによる基準値を超える有機化合物ヒドロキシメチルフルフラール(HMF)を含む製品など品質に問題ある製品も店頭に並んでいるという。

シクロケムでは品質にプラスし、マヌカハニーの持つ機能性を探求してきており、自社研究施設や子会社シクロケムバイオの機能を通じてMGOやシリンク酸メチルをはじめとする成分の科学的分析、健康・美容、腸内作用などを見いだしてきた。オリジナルと組み合わせた商品開発、コサナでの機能性NZプロポリスの取り扱いなども行っている。

(高橋善治)



日本向けに品質管理を行うニュージーランドのマヌカハニー生産工場